

私たち、えるワークさんむは、日本が直面する人口減少時代に求められる「健康になる就労」の仕組みを提案します。

安心の“タネ”を 一緒に探す事業

現場ヒアリング＜安心のタネ活＞

つまづきに目を向けるよりも、働きやすさを最大化する工夫を共に探る。

安心就労事例検討会

安心就労につながる個人、チーム、組織の3つの視点からアプローチを考える。



安心安全就労サーベイ

〔市役所との運動事業〕

生活や仕事に必要な機能を測定し、明日の一步と、顔の見える関係を築く。「いま」を正しく捉え、より良い事業に向けて、年ごとのモニタリングを行う。



パトロール系事業を “地域の目”にする事業

気づきノート＜つながりのタネ活＞

仕事の合間にふと感じた違和感や発見を、大切なデータとして拾い上げる。

地域の“目”ネット活動

〔社会福祉協議会との運動事業〕

まだ声にならないSOSと、地域に眠るお助けパワーのつなぎ合わせる。



レッスンマスターの “ワザ”を熟成する事業

レッスンマスター連絡会

目指す状態を共有し、現場のあるあるを解決する智恵と技術をアップデートする

対処法レッスン・研修会

「私のからだ、動ける」を実感。マスター直伝のチェック法とセルフケアのコツを笑顔で身につける体験会を開催する

“そうだ、 シルバーだ”事業

Neoシニア向けリーフレット

今の自分にぴったりの関わり方が見つかる、感性に響く仕事探しのヒント集をつくる

学びサポート人材バンク

意欲あるシニアの学びを支える、『地域の知恵袋』たちの発掘とネットワークをつくる

<会員(本人)>

事故やケガによる入院・通院の防止

作業能率低下の軽減

健康就労・生きがい就労の実践

<会員間、会員-職員間>

健康になる就労への理解と応援

心理的安全性の高い関係の強化

健康・生きがい就労の支え合い

<地域>

就労バリアを感じる住民の減少

会員を通じてつながる住民の増加

健康・生きがい目的の入会の増加

健康・生きがい就労会員の増加

<短期目標:2027年3月まで(令和8年度)><中期目標:2028年3月まで(令和9年度)><長期目標:2029年3月まで(令和10年度)>

- レッスンマスターを1名任命する
- 成果指標と測定方法を決定する。
- 気づきノートの記録方法を決めて、開始する。
- 現場ヒアリングを企画・テスト実施する。

- レッスンマスターを2名とし、レッスン会を企画・テスト実施する。
- 事例検討会をテスト実施する。
- 新リーフレットの構成案が固まる。
- 地域の目による測定会への勧誘が複数事例で実現する。

- チーム研修会を企画・テスト実施する。
- 新リーフレットが完成する。
- リカレント学習イベントを共同開催する。
- 生活支援コーディネーターとの連絡会に会員が参加し、ケア課題を提案する。